

# 稲作だより

第 3 号  
育苗後期 &  
本田準備編

令和4年4月20日発行  
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト  
最上地域本部  
最上総合支庁農業技術普及課  
Tel 29-1333 (稲作担当)



## かなりの高温予報！苗やけ注意！

24日頃からかなりの高温が予想されます（仙台管区气象台 4/18）  
遮光資材の活用（緑化期まで）や換気で温度管理の徹底を！

### <育苗後期 ～硬化期のポイント～>

#### ◎ 温度管理 ～ハウスの温度はこまめに確認を～

日中の高温時

⇒ 換気による温度管理

朝晩等の低温時

⇒ 保温資材の適正使用

<硬化期の育苗適温>

昼間	20～25℃
夜間	8℃以上

☆徒長防止のため、苗の過保護は厳禁！

※苗の近くに設置した温度計で測定

田植えの約 1 週間前からは、霜の心配がない限り、夜間もハウスを開放して苗を外気に慣らすようにしましょう。

#### ◎ 水管理 ～かん水は午前中に 1 回が基本～

かん水の基本は十分な水量を午前中に 1 回です。

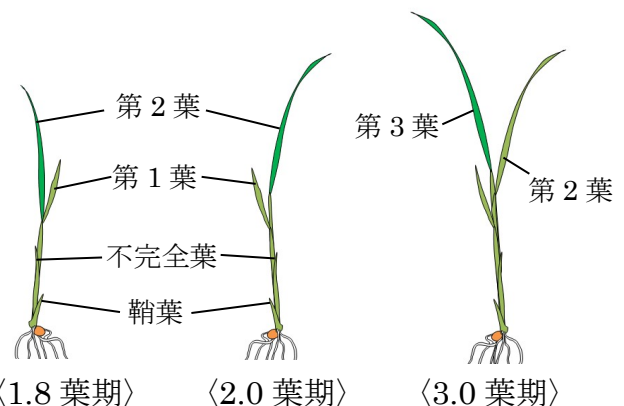
低温時や夕方のかん水は、床土温度の低下、過湿・カビの原因になるため避けましょう。

換気の風が直接当たると培土が乾く原因になります。板などで風よけを作りましょう。

#### ◎ 追肥 ～苗の生育(葉令)を確認し適期に追肥を～

追肥は 1 回につき 1 箱当り窒素成分で 1g が目安です。

苗の種類 (移植時葉齢)	追肥時期
稚苗 (2.2～2.5葉)	1.8葉期
中苗 (3.2～3.5葉)	1回目:2.0葉期 2回目:3.0葉期



※床土に緩効性肥料(育苗一発肥料など)を使用した場合は、追肥の必要はありません。

やまがたアグリネットが新しくなりました！

やまがたアグリネットでは、お使いのPCやスマートフォンから  
作物別・地域別の最新情報をご覧になれます。会員登録無料！



## <本田準備 ～土づくり・耕起・基肥～>

### ◎ 積極的な土づくり ～気象変動に強い米づくり～

ようりん、ケイカル等の土づくり肥料は、水稻の生育に必要な養分の供給源となります。また、堆肥等の有機物は、土壌の通気性や透水性を改善し養分供給力を高めます。近年、日照不足や長期間の降雨、高温など、気象変動が大きい年が続いています。

積極的な土づくりで、気象変動に負けない米づくりを目指しましょう。

<土づくりに効果のある肥料や有機物施用と収量> (稲作指針より)

区	施用資材(施用量)	平均収量(H11~20)
無施用	—	590kg/10a(100%)
有機物施用	稲わら(500kg/10a)	637kg/10a(108%)
土づくり+有機物	ケイカル(120kg/10a) ようりん(30kg/10a) 稲わら(500kg/10a)	673kg/10a(114%)

### ◎ 耕起 ～適切な耕起深確保で根の効率UP～

作土層が浅いと、肥効の持続性が短く、根張りも浅く、根の機能低下も早まります。

耕起作業はゆっくり深く意識して行いましょう。

耕起深を  
確認してから  
作業開始!

### ◎ 基肥施用 ～品種と地力に合わせた適正施用を～

下表の地力・品種別基肥量を目安に、地力に応じた基肥を行いましょう。初期生育を確保するためには、側条施肥や耕起後の施肥が有効です。

<地力・品種別の基肥量目安> (単位：窒素成分 kg/10a)

	つや姫	雪若丸	はえぬぎ	ひとめぼれ	あきたこまち	ヒメノモチ
地力高	3.0	4.0	4.0~5.0	4.0	5.0	5.0
地力中	4.0	5.0	5.0~6.0	4.5~5.0		
地力低	4.0~5.0	5.0~6.0				

※ 地力が高い圃場や堆肥を施用した圃場では地力や堆肥施用量に応じて減肥する。

※ 側条施肥は肥料の利用効率が高いため、上記から2~3割減らした量を目安とする。

## 農作業安全 <農作業事故を防止しよう!>

危険箇所をあらかじめ点検し、トラクターの転落・転倒に注意しましょう。

点検整備は必ずエンジンを止めてから。ちょっとした油断が命取り!

公道ではブレーキを連結し、低速車マークをつけて運転しましょう。

あせりは禁物です。作業は計画的にゆとりを持って行いましょう。

「山形県農作業事故防止啓発運動～春季運動強化期間(4月10日～6月10日)」